

みち筆テキスト



オリジナル作品

『感謝のお地蔵さん』

今回はどなたでも「感謝」という漢字に「お地蔵さん」のイラストを組み合わせた、日本筆文字セラピスト協会オリジナルの『みち筆作品』が描けるようになりますので、安心してお楽しみになさってくださいね。

書道や筆文字、絵画などの習い事は、道具を買いそろえるのも大変な事が多いですよ。

でもみち筆でつかう道具は、全部100均ショップで揃えられるので、気軽に始めていただけます。

道具を用意するのが大変なら、家にある鉛筆やサインペンで真似していただくだけでも楽しめますよ。

目次

P 2 用意する道具
原寸大みほん

P 3～ お地蔵さんの描き方

P 5～ 感謝の文字の書き方

P 11～ いろいろな表情の
描き方



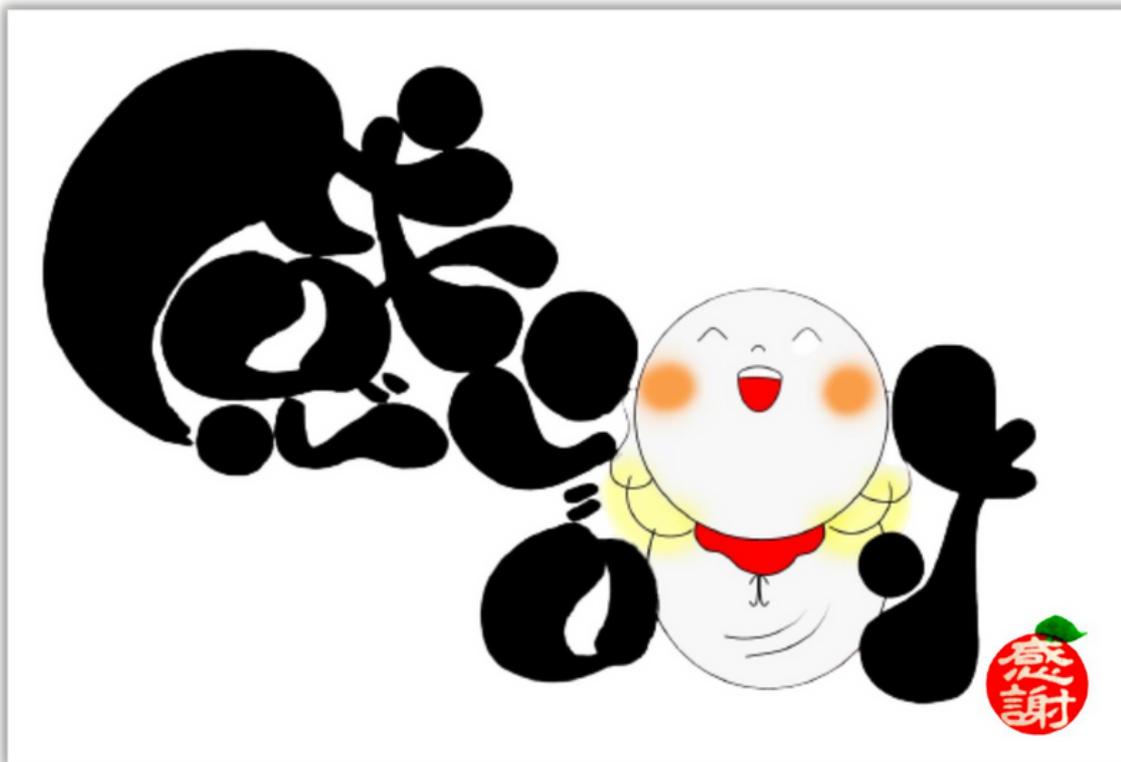
用意する道具

今回用意するのは

- 筆ペン*ペンてるの中字がおすすめ
- ボールペン
- 黒のサインペン
- 赤のサインペン
- 黄色の蛍光ペン
- オレンジの蛍光ペン
- 500mlペットボトルのキャップ
- はがき
- A4コピー用紙（練習用）
- 鉛筆&消しゴム（下書き用）

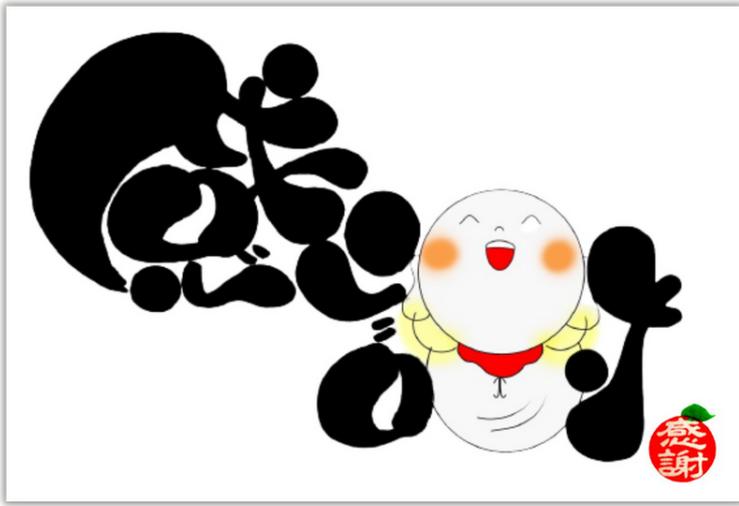
原寸大みほん▼

このままA4でプリントしていただくと、原寸大のみほんになります。



ワンポイント

道具を用意するのが大変なら、家にある鉛筆やサインペンで真似していただだけでも楽しめますよ。



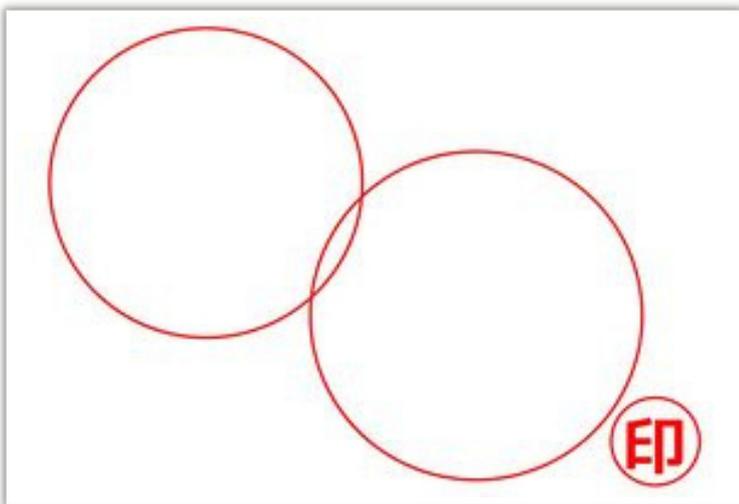
紙と下書きの準備

では、まずは練習からスタートしましょう。

A4のコピー用紙を4つに折るとハガキとほぼ同じ大きさになります。

筆文字もイラストも上手く見えるかどうかは、字の大きさと余白のバランスが重要になってくるんです。

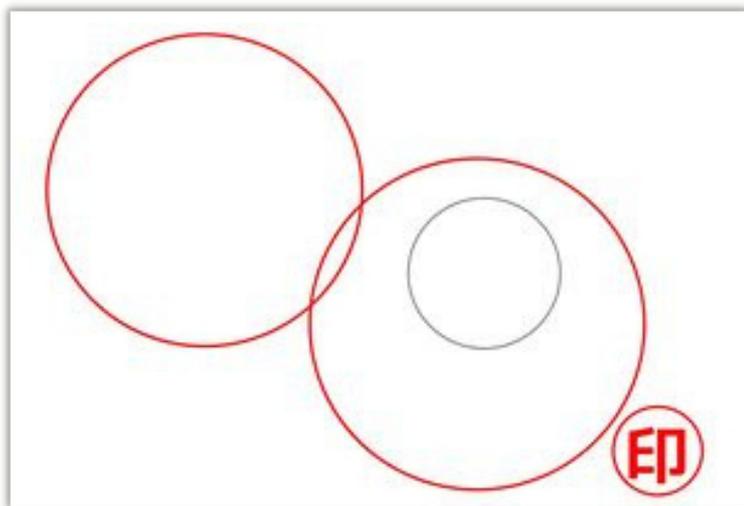
なので、まずはどのくらいの大きさに書いていくか？下書きの前に準備していきましょう。



バランスをみてみましょう

「感」のほうが「謝」より若干小さくなりますので、このような感じでちょっとだけ大きさの違う円を鉛筆で描いてみてください。

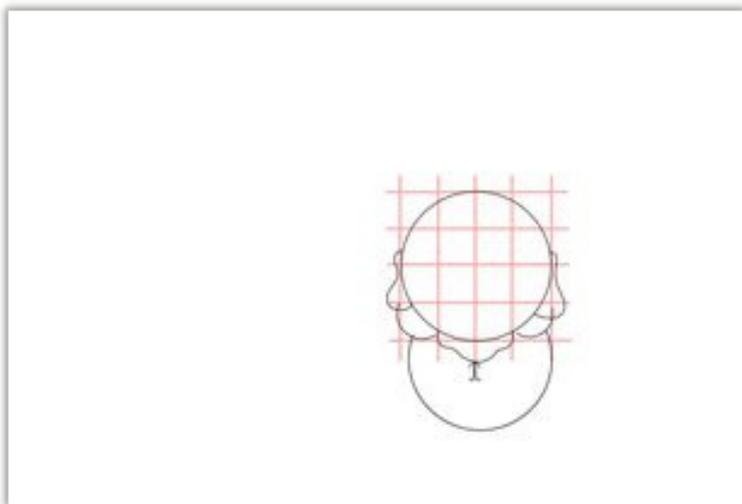
※テキストでは円を定規で書いていますが、あくまでも大きさの目安(最後には消しゴムで消してしまう下書きのための線)なので、皆さんは、いびつになってしまっても問題ありません。



お地蔵さんの顔を描いてみましょう

丸が描けたら、次はお地蔵さんの顔の部分を描いていきます。

「謝」の文字の「身」の部分がお地蔵さんになるので、描いた丸の左右のほぼ中心、真ん中よりやや上の方に、ペットボトルの蓋を定規がわりにして、鉛筆で丸を描いてみて下さい。



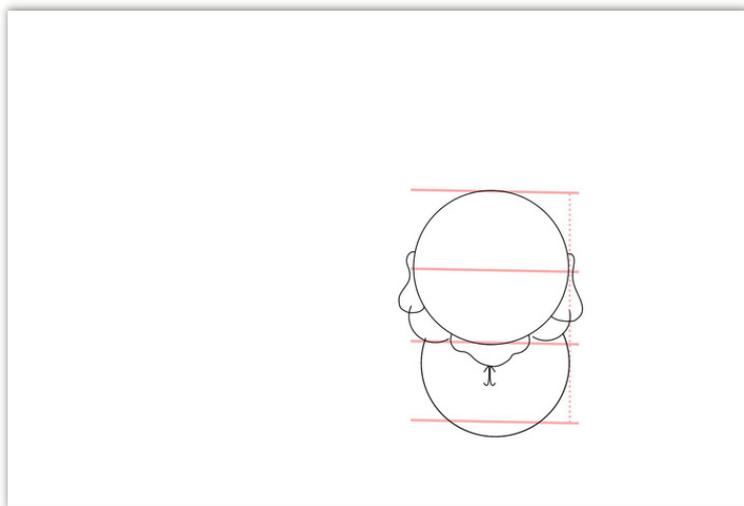
耳とよだれかけを描いてみましょう

円が描けましたら、耳やよだれかけを描いていきます。

この耳の位置もバランスが重要ですので、縦横を四等分して描いていきましょう。

※写真は全体のバランスがわかるように身体を描いていますが、皆さんは後から描いていただいて大丈夫です。

1. 耳は上下のほぼ真ん中から福耳に描きます。
2. 四等分した真ん中によだれかけを描きます。
3. 耳たぶには、可愛らしいお地蔵さんに仕上げるためにイヤリングを描いていきます。



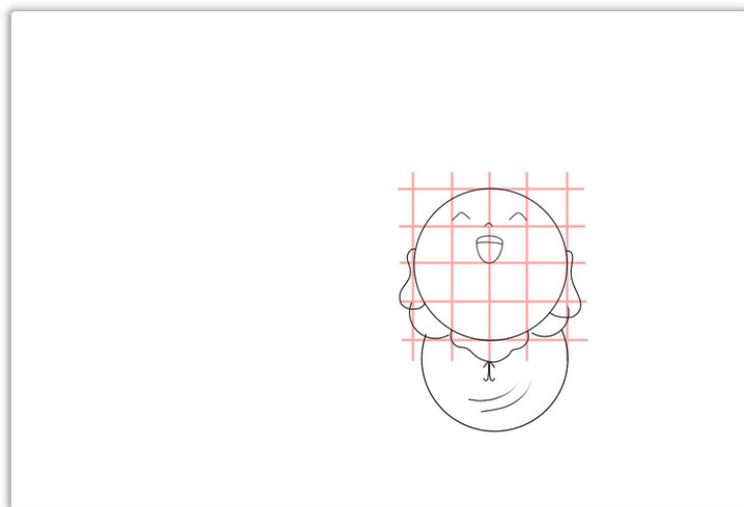
身体を描いてみましょう

では次に、お地蔵さんの身体を描いていきましょう。

顔の下、顔の1.5倍くらいの位置に目安をつけます。

その位置くらいを目安に、ペットボトルの蓋で丸を描きます。

そうするとほぼ2頭身のお地蔵さんになるんです。



お地蔵さんの表情を描いてみましょう

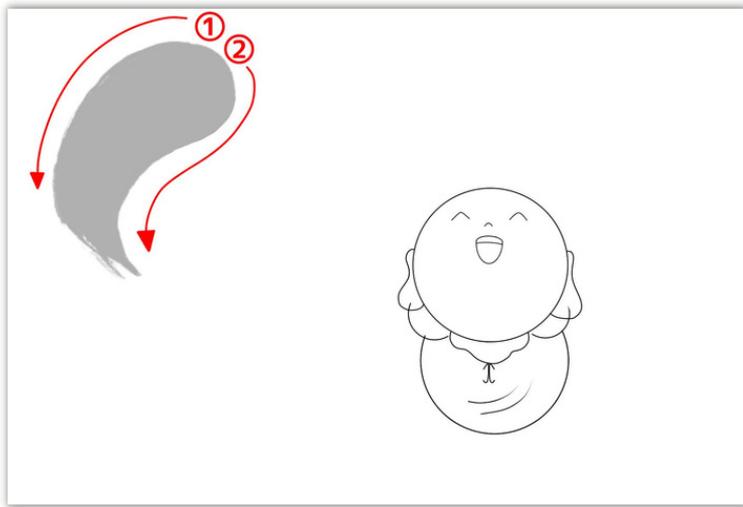
では、お地蔵さんの顔に表情を描いていきましょう。

顔を描くのに一番大切なのは、目や鼻、口といったパーツの大きさと位置なんです。

お地蔵さんの場合は、こんな感じに縦横を四等分して描くと上手く描けますので、この位置と大きさを参考に描いてみてくださいね。

身体にアルファベットの小文字のxを書く感じで、合掌している両手を描いて、その下に法衣のシワ感を2本の線で表現したら、お地蔵さんは完成です。いかがですか？可愛く描けましたか？

上手く描けたら、ボールペンで下書きをなぞって、清書しましょう。



では筆ペンで文字を書いていきましょう

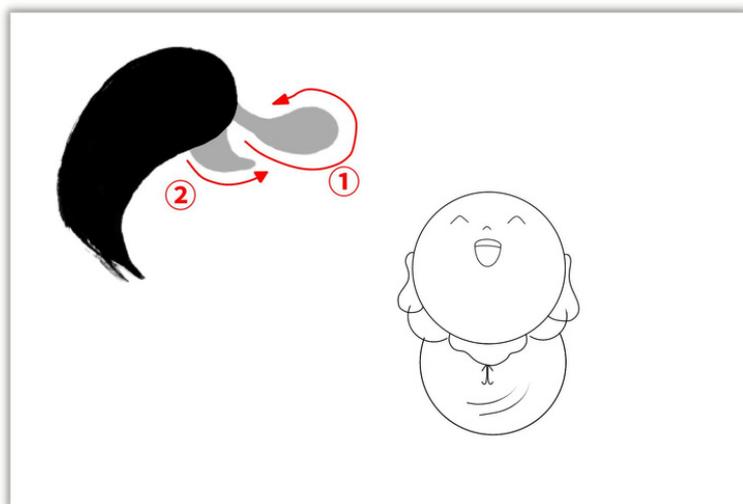
では続いて筆文字を書いていきましょう。

書道は二度書きなんてタブー中のタブーですが、筆文字は自由に書いて大丈夫です。

太い線が一度で書けなければ、お手本の写真のように2回で書けばOK!

2回で書ききれなければ、3回4回繰り返して書けばいいですよ。細かい線が上手く書けなかったり、いびつになってしまったり…その時は、カタチをサインペンで整えていくと上手く仕上がりますよ!

今回のお手本も、最後にサインペンでカタチを整えてますから(笑)



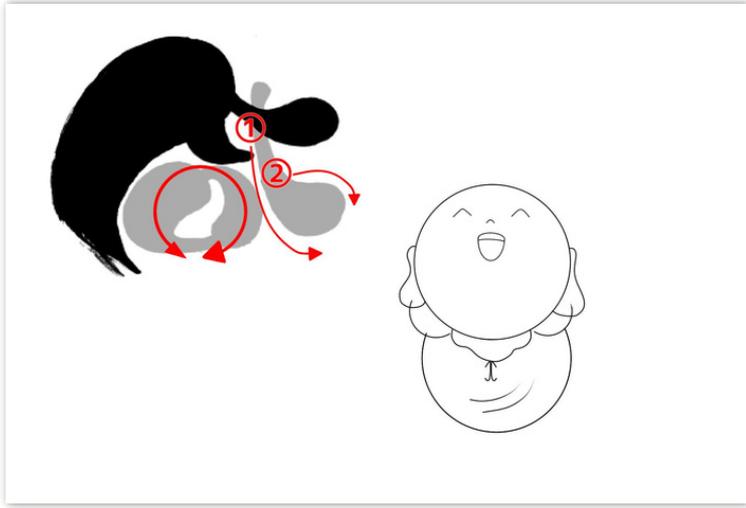
感謝の「感」 2画目 3画目

横線は①の矢印のように筆ペンを動かし、最後にくるっと筆ペンを回すようにして止めると、丸くて優しい感じの文字になります。

次の3画目は、1画目と同じように2回で書いていきます。

書道の筆のように立てすぎないで、筆ペンのペン先を45度くらいに寝かして書くと太い線は書きやすいですよ。

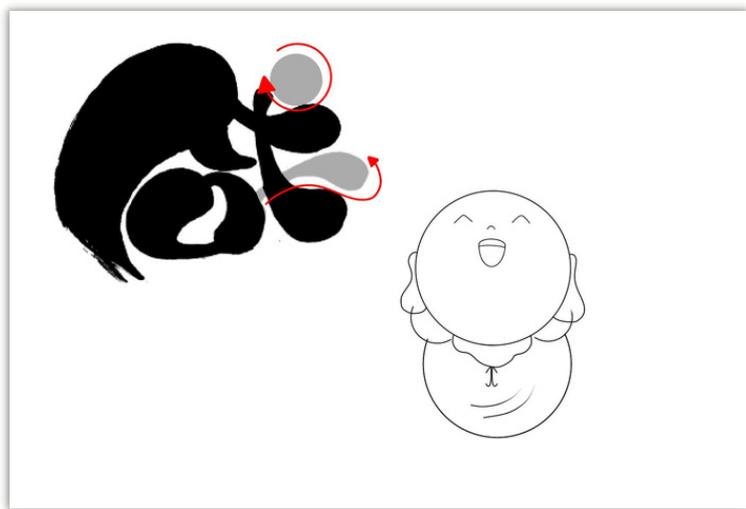
ちなみに、文字を書いている手は、紙から浮かせて書いても、紙につけて書いても、書きやすい方で書けばOKです。



感謝の「感」 4画目～7画目

「口」の部分は、小さくなると狭苦しい印象になりますし、普通に書くと角ばって固い印象になってしまうので、大きさと丸みを意識して書いてみてください。

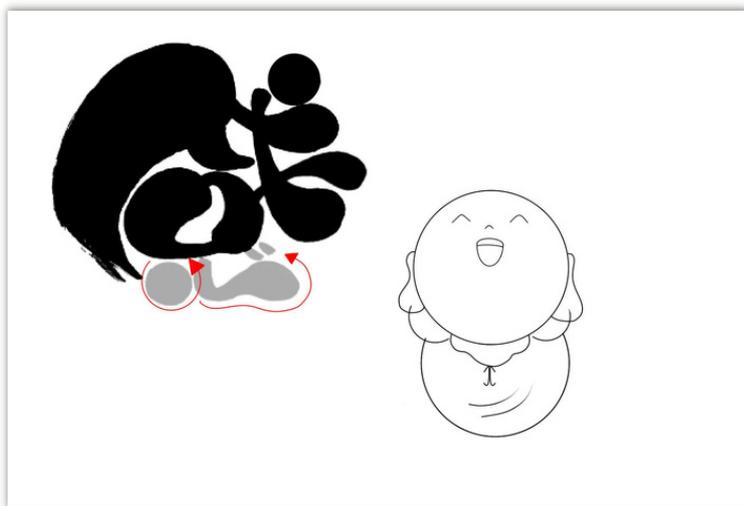
斜めの7画目は、強弱をつけて最後をボリュームつけてみましょう。



感謝の「感」 8画目9画目

続く8画目は、普通に書くのとは真逆で、左下から右上に向けて、最後を丸くするように書いてみてください。

9画目は丸く枠を書いて、最後に塗りつぶして書いてみてくださいね。



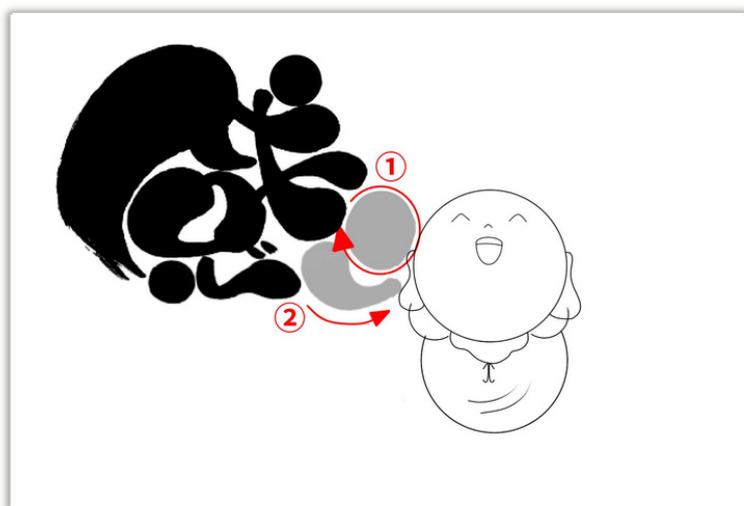
感謝の「感」 心の部分

最後に心の部分を書いて「感」を書き上げてみましょう。」

心の点は、筆ペンで書きにくい場合は、サインペンを利用してみてくださいね。

いかがですか？「感」は可愛く書けましたか？

「謝」は「感」より画数が多いのと、字を分解すると縦に3つの部首でできているので、若干難しくなります。

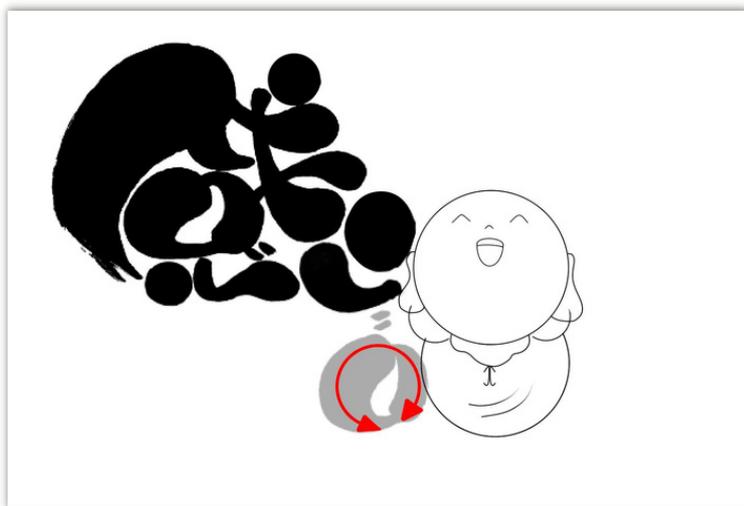


感謝の「謝」 1画目 2画目

まずは言偏から書いていきましょう。

1画目は丸い枠を書いてから中を塗りつぶしていきます。

2画目は書き始めが太くなるようにして、右下がりです。

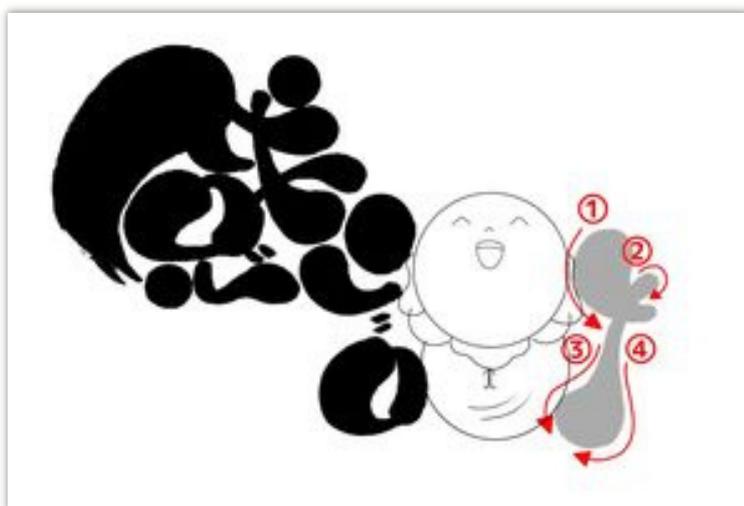


感謝の「謝」 3画目～7画目

3画目4画目は短く小さく書いて。

この3画目と4画目は筆ペンで書きにくいようでしたら、サインペンで書いてみて下さいね。

続く口の部分は、感の口の部分と同様に、大きさと丸みを意識して書いてみて下さいね。



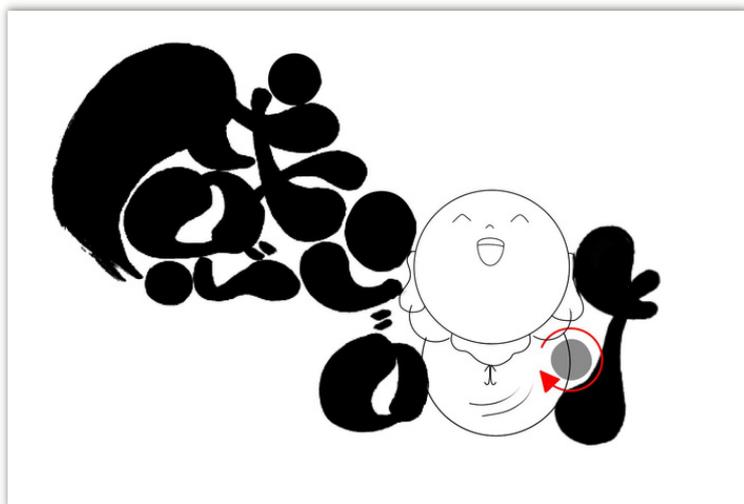
感謝の「謝」 寸の部分

ここまで書けたらもう一息！

寸の1画目は右下がり。

言偏の2画目のように書き始めを太くして右下がり意識して。

寸の2画目は、1画目と2画目が交差しているあたりから上にむかって書き始め、くるっとUターンするように書くと丸み帯びた感じになります。



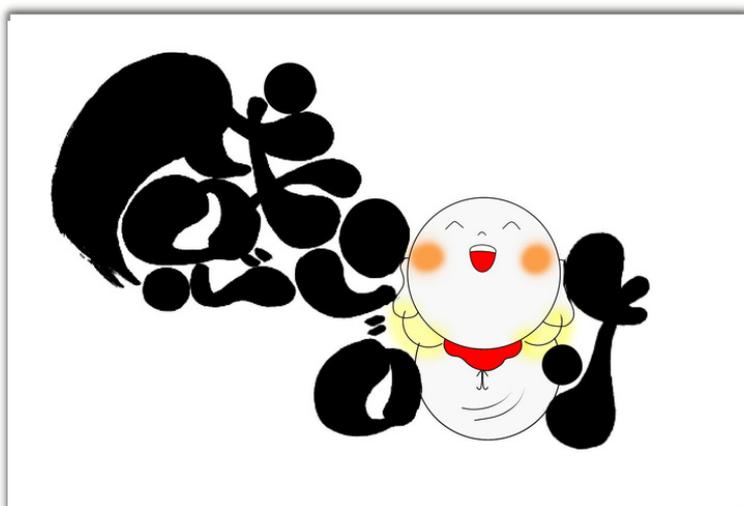
いよいよ完成間近！

最後に寸の点を丸く書けば完成です！！

『みち筆』が一番大切にしているのは、書くこと&描くことを楽しんで、贈った相手に喜んでいただくこと！

苦勞しながら書いたら、もらった人に苦しみの波動が伝わっちゃうかもしれませんからね。

だから、心を込めて相手の笑顔を思い浮かべながら、幸せを願って書いてみてください。

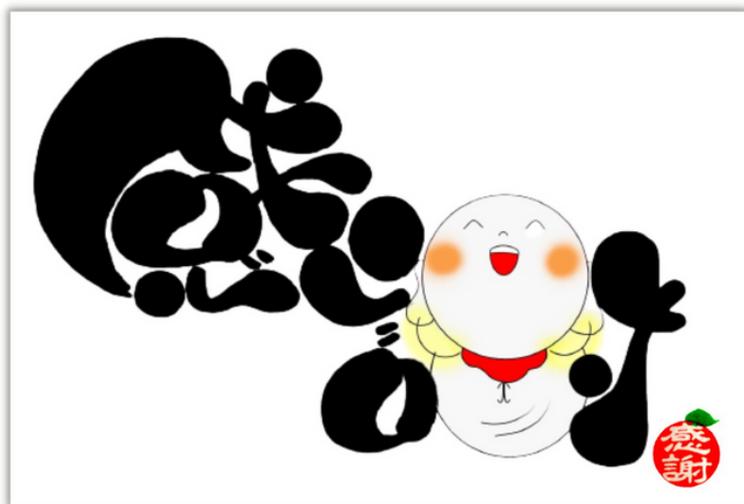


用意する道具

最後に赤のサインペンで口とよだれかけを塗って
オレンジの蛍光ペンで丸くほっぺにチークで、黄色の蛍光ペンでイヤリングを塗って。

とっても可愛く仕上がってきましたね。

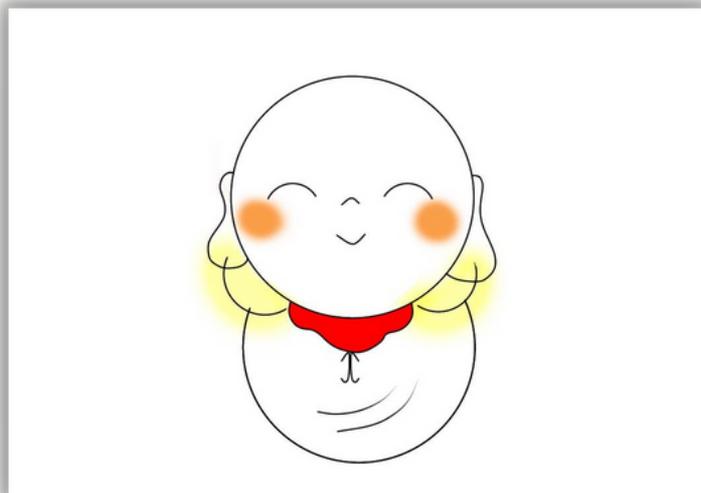
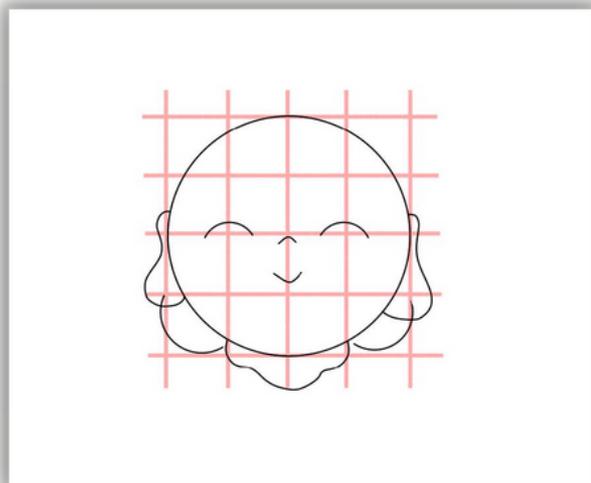
インクが染み込みやすい画仙紙や和紙のハガキに描くと、ほっぺやイヤリングの色が染み込んで、ほっこりした雰囲気になります。



用意する道具

字がイビツになっていたり、気になる細かいところをサインペンでカタチを整えて、色鉛筆があればお地蔵さんを薄いグレーで塗って、最後に印鑑を押して出来上がりです。

印鑑や落款印があれば最後に押して、ない場合は赤のサインペンで名前の一文字を書いて、まわりを四角く囲って印鑑風に見せてみてくださいね。

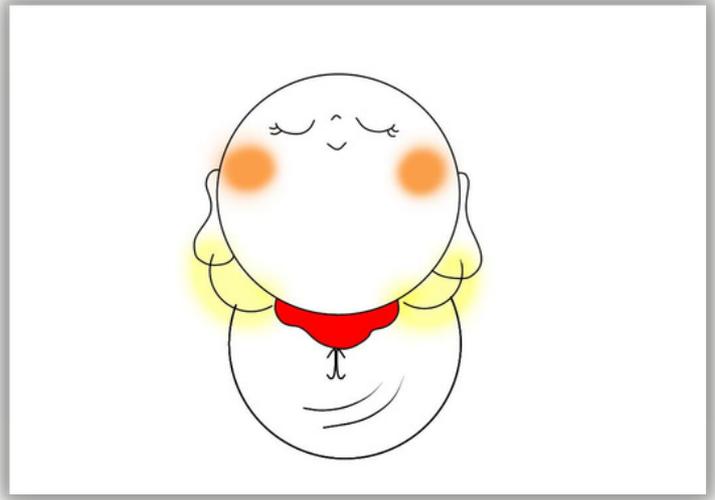
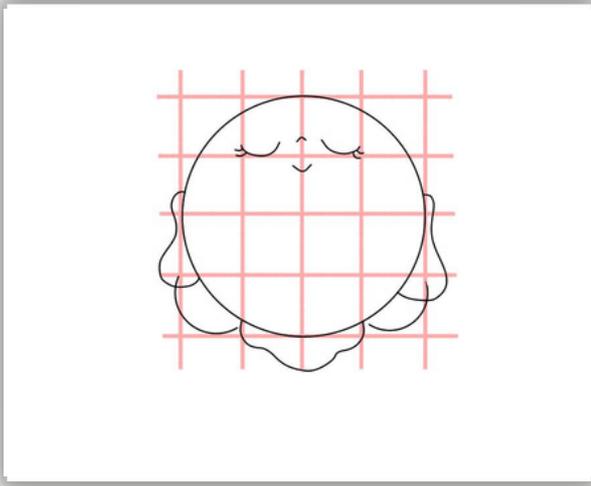


可愛くてほっこり

基本のお地蔵さんが描けるようになれば、色々アレンジして夫婦地蔵さんや六地蔵さんも！

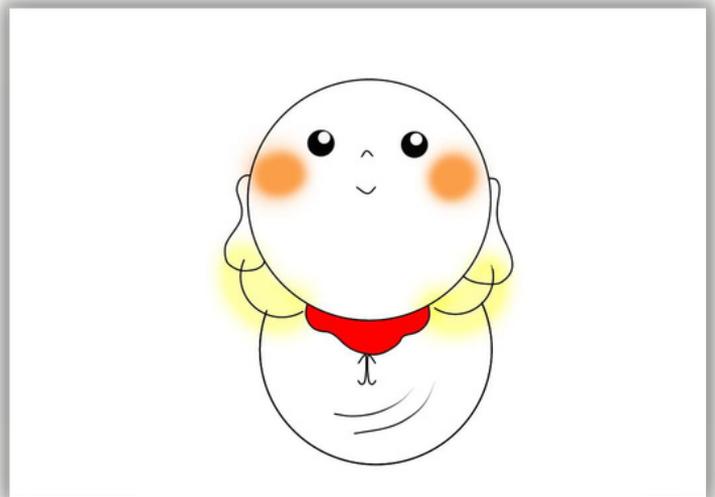
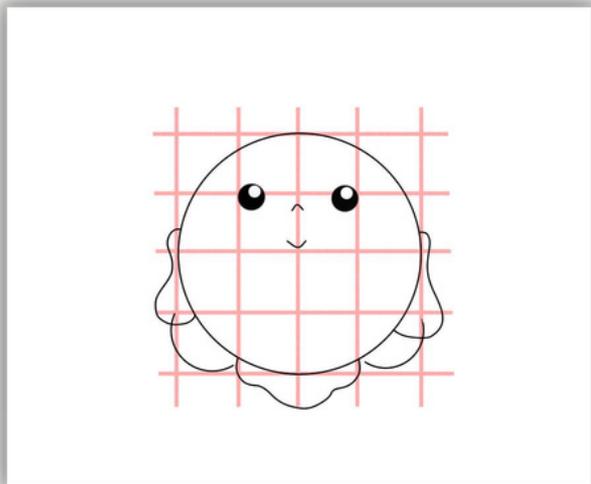
目鼻立ちをかえるだけで、いろんな表情のお地蔵さんに！

真ん中に目鼻立ち描くと、可愛くほっこりしたお地蔵さんに。



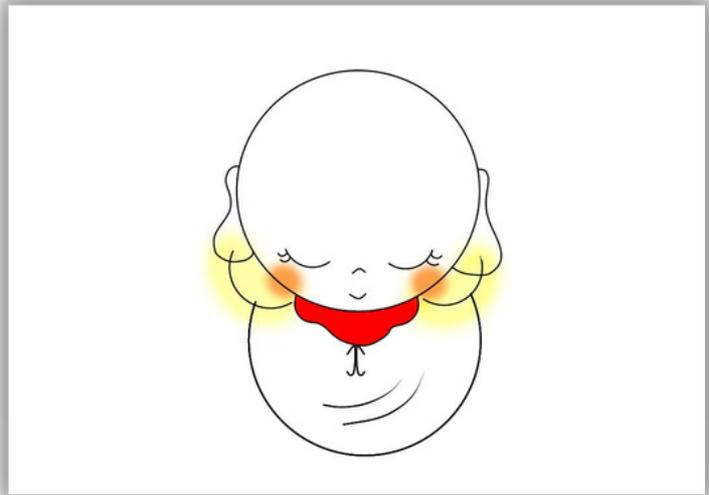
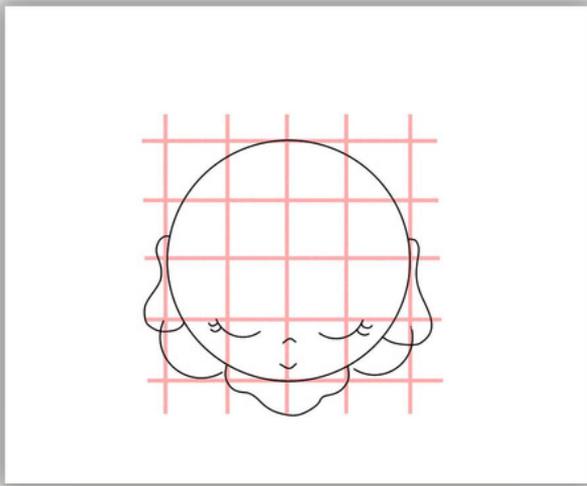
天を仰ぐお地蔵さん

目を上の方に描くと、天を仰ぐお地蔵さん



まんまるお目々の可愛いお地蔵さん

白い部分を残して黒丸を描いたり、黒丸に修正ペンで白い丸を描けば
可愛い子ども地蔵さん



お祈りしているお地藏さん

下に目鼻立ちを描くとお祈りしてるお地藏さん

表情の違うお地藏さんを6体描いて並べて6地藏さんを描いたり、基本のお地藏さんの描き方で頭におだんごを描くと可愛い如来様や観音様も描けちゃいますよ。

是非いろいろお試しく下さいね。

